

「黄泉がえり」のスタッフが贈る、未来からの黄泉がえり。

# この胸いっぱいのおを

もし、人生でひとつだけ  
やり直すことができるなら…

伊藤英明 ミムラ

勝地 涼 宮藤官九郎 ・ 吉行和子 愛川欽也 ・ 富岡 涼 白田あさ美  
古手川祐子 坂口理恵 ダンカン 金 聖響 ・ 中村勤三郎 / 倍賞千恵子

柴咲コウ 主題歌「Sweet Mom」(UNIVERSAL J/chimera energy)

プロデューサー/平野 隆 原作/梶尾真治(ワグネル・ライオン/朝日ソノタマ) 監督/塩田明彦

共同プロデューサー/下田淳行 久保田 博 脚本/鈴木謙一 渡辺千穂 塩田明彦 音楽/千住 明 撮影/善久村徳章 照明/豊見山明長 美術/新田隆之 録音/井東真紀夫 VFXスーパーバイザー/浅野秀二 編集/菊池純一 スクリプター/小山三樹子 助監督/毛利安孝

製作担当/高橋玉恵 ラインプロデューサー/藤原恵美子 製作/TBS 東宝 MBS 東京都ASA連合会 中部日本放送 小学院 WOWOW 日本出版販売 ジェネオン エンタテインメント レフィラス S-D-P フォックスジャパン IMJエンタテインメント 制作プロダクション/フォックスジャパン 配給/東宝

[www.kono-ai.com](http://www.kono-ai.com)

©2005「この胸いっぱいのおを」制作委員会 国産映画

それは未来からの“黄泉がえり”だった。

## 『黄泉がえり』を手がけた原作:梶尾真治 × 監督:塩田明彦が贈るもうひとつのやさしい奇跡

2003年、3週間限定の公開期間を大幅に延ばして大ヒットを記録した『黄泉がえり』。

原作・梶尾真治、監督・塩田明彦をはじめとする『黄泉がえり』スタッフが再編集し、ふたたび、人の思いが呼び寄せる珠玉の物語が誕生しました。

梶尾真治の原作、『クロノス・ジョウターの伝説』（朝日ソノラマ刊）の中の一編を塩田明彦が大胆に脚色、映画ならではのスケール感をドラマに注入。過去からの旅人たちを描いた『黄泉がえり』に対し、『この胸いっぱいの愛を』は、未来からの旅人たちが繰り広げる『黄泉がえり』だといえます。

### 一度だけ過去に戻れるとしたら、あなたの戻りたい過去は、いつですか？

故郷である門司に向かった主人公・鈴谷比呂志は、かつて自分が住んでいた20年前の北九州・門司にタイムスリップしていることに気がきます。そこで彼は、難病にかかり手術を拒否してこの世を去った、大好きだった“和美姉ちゃん”に再会します。和美を救えなかったという思いは、比呂志の胸の中にずっとひっかかっているものでした。20年前のいまなら、和美姉ちゃんを救えるかもしれない…目の前にいる20年前の自分“ヒロ”は、これから和美の身に起こる悲しい出来事を知りません。当然のことながら、“ヒロ”の気持ちが痛ほどわかる比呂志は、現在の自分と過去の自分の狭間で葛藤しながら、かつての自分が叶えられなかった願いを果たそうとします。

一方、比呂志の周りには、同じタイムスリップした境遇の異なる人々がいました。それぞれに、この時代に思いを残した3人の人々。20年前の1986年を舞台に、彼らの思いが呼び寄せる物語が展開し、その過程で、なぜ比呂志たちはタイムスリップしたのか予想外の事情が明らかになっていきます。



主人公・鈴谷比呂志を演じるのは、『海猿』での好演が記憶に新しい伊藤英明。比呂志が昔想いを寄せていた青木和美には、『着信アリ2』など数々の作品で着実な成長を見せるミムラ。若いヤクザの男に勝地涼、影の薄い男に宮藤官九郎が扮しています。ヒロの祖母に吉行和子、和美の父親に愛川欽也と実力派が演じます。幼い日の比呂志“ヒロ”を演じるのは富岡涼、そのほか臼田あさ美、ダンカン、坂口理恵ら若手&ベテランが集結。また古手川祐子、歌舞伎界からは中村勘三郎、タイムスリップする盲目の老婦人に倍賞千恵子と日本を代表する俳優がドラマを盛り上げます。また、オーケストラ・シーンでは、各界から注目される若手指揮者・金聖響がタクトを振ります。主題歌は『黄泉がえり』でRUIとして「月のしずく」を大ヒットさせた柴咲コウが担当、今回は作詞も手掛けた「Sweet Mom」を熱く歌い上げます。

## CORRELATION DIAGRAM



10/8 SAT 東宝洋画系ロードショー

六本木ヒルズ・けやき坂コンプレックス3F  
VIRGIN TOHO CINEMAS 六本木ヒルズ  
☎03 (5775) 6090